

第2部 保全上重要なわかやまの自然環境

1. 選定の考え方

(1) 植物群落

植物群落の選定にあたっては、次の基準に基づき抽出を行った。この選定基準は、環境庁（当時）が昭和53年度（1978年度）に実施した「特定植物群落調査」において用いられたものである。

- ① 原生林もしくはそれに近い自然林
- ② 国内若干地域に分布するが、極めて希な植物群落または個体群
- ③ 比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等、分布限界になる産地に見られる植物群落または個体群
- ④ 砂丘、断崖地、塩沼地、河川、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの
- ⑤ 郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの
- ⑥ 過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等、手が入っていないもの
- ⑦ 乱獲その他人為の影響によって、県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群
- ⑧ その他、学術上重要な植物群落または個体群

(2) 地形・地質

文化財目録に記載されている国、県、市町村指定文化財のうち、「貴重な地形および地質」と考えられる記念物及び自然景観資源調査報告に記載されているものを基本項目としてリストアップした。更に、諸資料の調査や南紀熊野ジオパークのジオサイトを含む現地調査を踏まえて追加・整理等を行い、次の基準によりまとめた。

- ① 地形や地質の成り立ちを示す典型的なもの
- ② 我が国で初めて記載、説明されたもの
- ③ 学術的に貴重なもの
- ④ 自然環境と人との関わりを密接に示すもの
- ⑤ 分布が限られた希少なもの、形状や分布がユニークなもの

(3) 生物多様性保全上注目すべき地域

貴重な動植物種が多く生育・生息し、生物多様性上重要な地域について、以下の基準により、原生的自然及び二次的自然によらず、各分類群からの観点で、候補となる生態系を抽出し、連続性のある複数の生態系を一つのまとまりとした範囲として37箇所を選定した。

- ① 『和歌山県レッドデータブック 2022 年改訂版』における絶滅危惧種（Ⅰ類及びⅡ類）及び準絶滅危惧種が生育・生息する
- ② 『和歌山県レッドデータブック 2022 年改訂版』における学術的重要種が生育・生息する
- ③ 原生的及び二次的自然によらず、多様な生物が生育・生息する
- ④ 特異性のある地形・地質において生態系が成立している
- ⑤ 良好な自然が維持されているが、人為の影響による改変が危惧される

2. カテゴリーの設定

(1) 植物群落

次に示すカテゴリーの定義の基本概念に基づき、選定作業を進めた。

区分	基本概念
① 良好	本来の自然の状態、または評価されるべき優れた状態がよく保たれている
② やや良	本来の自然の状態、または評価されるべき優れた状態がよく保たれているが、一部良くないところがある
③ 不良	本来の自然の状態、または評価されるべき優れた状態がよく保たれているとは言えないが、一部良い状態が残っている
④ 劣悪	本来の自然の状態、または評価されるべき優れた状態が質的、または量的に劣悪化している
⑤ 壊滅	群落が壊滅状態にある

(2) 地形・地質

区分	基本概念
Aランク	国際的に貴重なもの
Bランク	全国的に貴重なもの
Cランク	和歌山県として貴重なもの
Dランク	地域的（市町村単位）に貴重なもの

(3) 生物多様性保全上注目すべき地域

複数の生態系を内包した範囲を選定したため、設定しなかった。

3. 自然環境分類群別の掲載数

『和歌山県レッドデータブック』における分類群ごとのカテゴリーの内訳を選定結果一覧表に示した。

(1) 植物群落の掲載数

『和歌山県レッドデータブック 2022 年改訂版』選定結果一覧表

分類群	カテゴリー					合計
	①良好	②やや良	③不良	④劣悪	⑤壊滅	
植物群落	75	43	14	2	0	134

【参考1】『和歌山県レッドデータブック 2012年改訂版』選定結果一覧表

分類群	カテゴリー					合計
	①良好	②やや良	③不良	④劣悪	⑤壊滅	
植物群落	75	43	13	3	0	134

【参考2】『和歌山県レッドデータブック 2001年版』選定結果一覧表

分類群	カテゴリー					合計
	①良好	②やや良	③不良	④劣悪	⑤壊滅	
植物群落	94	32	7	2	1	136

(2) 地形・地質の掲載数

『和歌山県レッドデータブック 2022年改訂版』選定結果一覧表

分類群	カテゴリー				合計
	Aランク	Bランク	Cランク	Dランク	
地形	1	6	33	223	263
地質	2	14	13	43	72

【参考1】『和歌山県レッドデータブック 2012年改訂版』選定結果一覧表

分類群	カテゴリー				合計
	Aランク	Bランク	Cランク	Dランク	
地形	1	6	33	211	251
地質	2	10	10	34	56

【参考2】『和歌山県レッドデータブック 2001年版』選定結果一覧表

分類群	カテゴリー				合計
	Aランク	Bランク	Cランク	Dランク	
地形	1	5	31	205	242
地質	2	10	7	27	46

4. 掲載項目の解説

分類群ごとの掲載項目の解説は次のとおりとした。なお、植物群落一覧表については、表の前に別途、より詳細な凡例を示す。

(1) 植物群落一覧表の解説凡例

植 物 群 落 名	呼称を記載した。
市 町 村 名	該当群落の市町村名を記載した。
所 在 地	当該群落の所在地を記載した。
植 生 の タ イ プ	相観群落名を記載した。
植 生 の 種 類	相観群落名を記載した。
単 一 ・ 複 合	該当群落が単一群落であるか、複合群落であるかを記載した。
カ テ ゴ リ ー	該当するカテゴリーを略号で記載した。
選 定 基 準	選定基準を略号で記載した。
保 全 制 度	該当群落地に設定された保全制度を記載した。
特 記 事 項	群落にとって重要な植物名等、特記すべき事項があれば記載した。

(2) 地形・地質一覧表の解説凡例

整 理 番 号	整理番号を記載した。
名 称	呼称を記載した。
カ テ ゴ リ ー	該当するカテゴリーを略号で記載した。
地 形 ・ 地 質 項 目	地形では山地地形、侵食地形、堆積地形、マスマーブメント地形、海岸侵食地形、海岸堆積地形及び海岸変動地形についての区分を記載した。 地質では地層・堆積岩、変成作用・変成岩、火成活動・火成岩、地質構造、化石、温泉・湧水及び鉱床についての区分を記載した。
地 形 ・ 地 質 分 類	地形・地質項目の詳しい分類を記載した。
所 在 地	位置を行政区画等で記載した。
概 要 及 び 特 徴	地形学的、地質学的な概要や特徴等を記載した。
備 考	補足事項、文化財指定、国・県立公園指定等を記載した。

※地形・地質に係る位置図は、口絵に示した。

(3) 生物多様性保全上注目すべき地域一覧表の解説凡例

名 称	地域の名称を記載した。
主 な 生 態 系	「自然林」、「干潟」、「農地」等、地域を構成する主な生態系の種類を記載した。
概 要	地域の説明を記載した。
市 町 村	地域の範囲内にある全ての市町村名を記載した。

※生物多様性保全上注目すべき地域の位置図は、口絵に示した。